

(参考様式4)

事業所名 グループホームはまなす

作成日: 令和 5年 9月 25日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	6月より共用型通所サービスが開始されたが、1名の利用に留まっており、余暇活動等の内容に工夫が必要。	通所の利用者様が継続して利用して頂けるよう職員の通所サービスに対する知識やコミュニケーション力等の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">・スタッフ会議での勉強会・申し送りの徹底とケース検討・環境整備	6ヶ月
2	32 33	新たに医療連携体制加算の算定が始まったことに伴い、看護師との連携の仕方について確認が必要。	緊急時やターミナル期に要介護者にスムーズなケアを提供できる。	母体施設の看護師と日常生活及び緊急時の対応について協議する。	6ヶ月
3	49	コロナにより、外出にまだ制限があり、屋内での限られた生活の中で利用者様の心身のストレスが考えられる。	定期健診以外で外出の機会をつくる。	園外散策やドライブ、移動販売の機会を利用し、楽しみをもち、心身のリフレッシュを図っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。